

2020年3月30日

次世代育成支援行動計画（第6回）

すべての職員が仕事と子育てを両立させることができ、安心して働き続けることができるような雇用環境の整備を図りつつ、次世代を担う地域の若年者への職場体験の機会を提供し、育成支援を行っていくため、以下の行動計画を策定する。

1. 計画期間 2020年4月1日 ～ 2023年3月31日 までの3年間

2. 内 容

目標1

育児休業取得の申し出をした女性職員の育児休業取得率100%を維持する。

<対策>

育児休業中の職員に対して復職前面談を実施する。

職場復帰後も仕事と家庭の両立をしやすい職場環境を整備する。

育児休業中に利用できる社会保障制度について周知を図る。

<実施時期>

2020年4月1日より随時行っていく。

目標2

性別を問わずすべての職員が仕事と家庭の両立ができるよう、男性の育児休業取得に対するニーズを把握し、1名以上取得者が出るよう働きかける。

<対策>

男性も育児休業が取得できることを周知するとともに、取得しやすい環境づくりを心がける。

<実施時期>

2020年4月1日より随時行っていく。

目標3

地域の高校生等への職場体験の機会の拡充を行う。

<対策>

地域の高等学校へ「高校生1日看護体験」等の実施の案内を行い、多くの高校生に医療現場での就業体験を継続的に提供していく。

<実施時期>

毎年5月中旬の看護の日にあわせて行う。